

# テーマ『パラダイム』

～あなたを取り巻くコミュニケーションに大きな変化を創るチャンスです！～

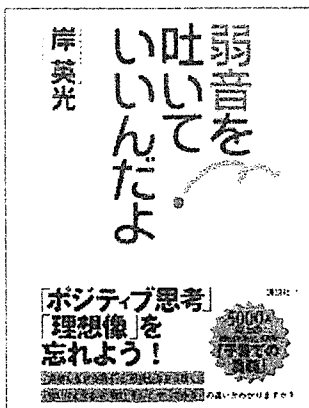
「私は〇〇だから」「いつもギリギリにならないと行動できない」「普通はこうでしょう」のように、なんとなく、いつの間にか「自分をそうさせてしまうもの」そんな価値観の枠組みを誰もがもっていたりします。その無意識につくられた価値観の枠組みに気づくことにより、今までのパターン化された行動や思考に違いが創れます。自分の中にあるその枠組みを試してみるチャンスです！  
 または、そんな枠組みがあることを知っているのと知らないのではこれからの人生に大きな影響があります。“変わりたいけど変わらない・・・”なんて思っているあなた、ぜひいらしてください^^！

- ◇日時 2010年2月11日(木) 13:00～15:45 (受付 12:30～)
- ◇場所 旭ヶ丘市民センター第1会議室 定員130名
- ◇参加費 一般 5000円(税込) 当日頂戴します  
 大学生 3000円(税込) 高校生まで無料
- ◇講師 岸 英光 エグゼクティブコーチ



東京都出身。大学卒業後、企業にて企画・技術開発・営業・システム開発などを手がけると同時に最新の各種コミュニケーション・能力開発などのトレーニングに参加。1992年に独立後同様プロジェクトをてがげる一方、研修、講演、執筆活動を展開。TVでも取り上げられ、アメリカ商工会議所ジャーナルには、エグゼクティブ・コーチングの第一人者として取材を受ける。対象は、企業、公官庁、自治体小中学校、PTA、病院、NGO などあらゆる分野にわたっている。講演・講座・研修は年400回以上。岸事務所代表。著書『エンパワーメント・コミュニケーション』『コーチング・センスが身につくスキル』あさ出版『どうして熱意は伝わらないのか』かんき出版『子どもの可能性をつみとる言葉 伸ばす言葉』PHP 研究所

最新著書「弱音を吐いていいんだよ」講談社(1365円)



★★内容紹介★★

「ポジティブ思考」ではなく「ニュートラル思考」を！  
 一時期、「ポジティブ思考」「プラス思考」という言葉が流行りました。失敗やイヤなことがあっても、それを前向きにとらえて、否定的に考えてはいけないという意味です。しかし、人生はそれですむはずはありません。人間は弱さを持っているからです。「つらい」「悲しい」「むずかしい」「怖い」「不安だ」……こんな感情を持つことは、人間として当たり前のことです。仕事や会社の同僚との関係がうまくいかず、あなたも愚痴や弱音を吐いたことが何度もあるでしょう。  
 翻って、子どもはどうでしょうか？  
 子どもだって、友達との人間関係がうまくいかないことや、勉強やスポーツで思い通りにならないことは、たくさんあります。子どもからそんな相談を受けても、あなたは「そんなに暗く考えてはダメ」「否定的に考えるのはよくないから、もっと前向きに考えなさい」と叱りますか？ そうではなく、子どもの気持ちをすべて聴ききってみましょう。これまで5000人以上の教職員の方に、また、PTAには300回以上講演した実績から、自信を持ってアドバイスできる「子育ての真髄」が満載です。

- (目次より) 第1章 心の「弱さ」はあっていい 第2章 子どもを「そのまま受け取る」4つの心得  
 第3章 これは避けたい！4つのNG 第4章 ストレスを引き受ける4つのサポート  
 第5章 子育てにがんばりすぎないで

※この本に書いてあることは子育てに限らず、すべての人間関係に通じるものです。まずは、私たちの枠組みを揺るがす目からウロコの体験をライブでお聴きください。

お申込み・お問合せ先： コミュニケーショントレーニング仙台

090-4049-7135(下村)

E-mail: sendai@communication.ne.jp FAX: 022-346-7022(担当 下村)

(お名前、連絡先、職業(分野)、講座に参加して得たいことを添えてお申込みください。)

※ HP上のフォームからお申込みいただけます。⇒ <http://sendai.communication.ne.jp/sub1.html>